

基本理念・コンセプト(素案)

1. 基本理念及びコンセプトの策定フロー

那珂市における「道の駅」の基本理念・コンセプトの設定に向け、以下のフローに沿って検討を進める。

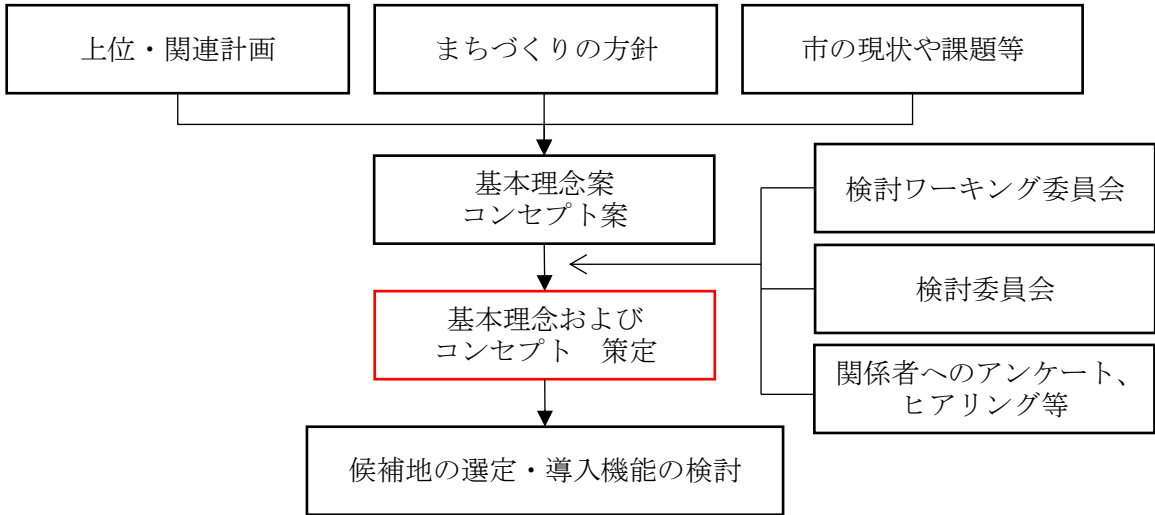


図1 「道の駅」整備におけるコンセプト検討フロー

2. 上位・関連計画

上位・関連計画に示されている那珂市における課題を以下に整理する。

表1 上位・関連計画と「道の駅」との連動

上位・関連計画	関連項目	道の駅との連動
第2次那珂市総合計画	那珂IC付近は「周辺都市又は県内外の都市との連携強化や交流促進を図るために重要な交通基盤であることから、周辺の土地利用の可能性について検討」とある。	交流促進に向けたゲートウェイ機能の整備
都市計画マスタープラン	那珂ICのある戸多・芳野・木崎地域の役割として、「県北地域への来訪客を対象とする交流機能の提供」「身近に親しめるレクリエーション機会の提供」を掲げている。	県北地域の玄関口、地域内外の交流の場、目的地となる滞在型施設
那珂市まち・ひと・しごと創生総合戦略 (那珂市アグリビジネス戦略)	基本目標を「農業の収益力向上」と「担い手の育成支援」とし、売上高の増加については、「質向上やブランド化、地産地消・地産外商の拡大」を掲げている。	地場産品の販売による地産地消の促進、ブランド価値の向上
可能性への挑戦 – 那珂ビジョン –	「那珂ICを最大限に活用するまちづくりを推進し、関係人口の増加に挑戦する。」とある。	観光情報発信等により関係人口増加を促進
那珂市国土強靱化地域計画	「那珂インターチェンジ周辺地域において、防災機能（避難者収容、備蓄、ヘリポート等）を備えた施設整備の検討を進める。」とある。	道の駅における防災機能の強化→地域の防災拠点化

那珂市スポーツ推進計画	気軽にスポーツに取り組めるよう環境整備を進め、関心を喚起するような情報発信の強化を図る	サイクルイベント等の情報発信
那珂市自転車活用推進計画	基本理念を「市民が自転車をたのしみ、サイクリストを迎える“ハートのまち”～自転車で創る“いい那珂暮らしと、あたたかい交流のまちづくり～”と設定。	サイクリングの拠点となるような施設・情報発信
那珂市観光振興計画	「市の観光は、総合案内的なものが不十分である」と明記されている。	ゲートウェイとしての案内機能の補強

3. まちづくりの方針

令和2年度に策定した那珂インターチェンジ周辺地域の「まちづくりの方針」において、設定した整備施設を以下に示す。

■那珂市の魅力を発信する機能を持つ施設〔情報発信、市内回遊起点〕

- ・市外の方に、市特産品ブランド認証品や農産物・観光資源等の情報発信をするとともに、交流人口の増加を図る機能の導入

■市内産業の活性化を図る施設〔地域振興〕

- ・市の基幹産業である農業の販路拡大や6次化をはじめ、市内産業の持続性を高めるとともに、担い手不足解消となる機能の導入

■市民の生活利便性、安心・安全を向上させる施設〔生活支援、市民交流、公共交通、防災拠点〕

- ・市民の日常生活を支援する機能や、市民交流の場として活用できる機能の導入
- ・高速道路を活用した首都圏方面へのアクセスや市内での移動を支援する公共交通等の拠点になるとともに、災害時の避難や物資供給などの拠点としての機能の導入

■県北地域を含む地域振興を図る施設〔観光交流〕

- ・那珂インターチェンジは県北地域への玄関口であることから、県北地域との連携を図るとともに、県植物園や県民の森等が分布する本市北西部の地域振興を担う機能の導入

4. 市の課題・ニーズ

地域が抱える課題と既往調査における市民意向調査や農業団体へのヒアリングの結果等から、市民や関係者ニーズを、以下に整理する。

表2 地域の課題および市民・関係者ニーズ

要素	地域の課題	市民・関係者ニーズ
産 業	<ul style="list-style-type: none"> ・農業従事者の不足により、遊休農地の増加等がみられる。 ・農業の担い手の高齢化、後継者不足が顕在化 	市 民：農産物直売所、地元食材を生かしたカフェ・レストラン、テイクアウト 関係者：農作物は売り上げ見込みがあれば生産規模の拡大は可能、売れ行きのよい直売所は歓迎
観 光	<ul style="list-style-type: none"> ・那珂IC周辺には観光地が無く分散しており、拠点が不足 ・観光情報の発信や広域連携が必要 	<ul style="list-style-type: none"> ・観光案内や地図の配布 ・那珂市のシンボルとなる施設は必要
暮らし	<ul style="list-style-type: none"> ・市民の自発的な活動の支援 ・那珂IC周辺における防災機能の確保 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもが安全に遊べる施設 ・親子で楽しめる体験 ・避難所や災害時の拠点として利用できる施設

5. 地域の現状把握

道の駅の整備にあたって、前面・周辺道路の交通状況や周辺にある既存の施設状況、道の駅の魅力として期待ができる地域資源等（ポテンシャル・強み）を、以下に整理する。

表3 「道の駅」整備に係る前提条件の整理

	項 目	具体的な状況
交通	交通量	24時間断面交通量によると、平日の交通量が多い。 一般国道118号 平日：休日＝6,524：5,445 那珂インター線 平日：休日＝2,319：1,883 バードライン 平日：休日＝6,046：4,950
	交通の特徴	大型車両混入率（交通量に対する大型車両の比率）は一般国道118号、那珂インター線、バードラインともに概ね平均値であり、生活道路としての利用が主と考えられる。また一般国道118号は奥久慈方面への観光動線となっている。 発生集中交通量を比較すると、貨物車は減少傾向にある一方、乗用車は増加傾向にあり今後のツーリスト需要が期待される。
立地	周辺道路の位置付け	国道118号、国道349号：奥久慈整流里山ゾーンへのアクセス道路 産業・観光の交流基盤となる「水戸外環状道路」として、常磐自動車道から奥久慈整流里山ゾーンへの玄関口
	IC周辺地域へのアクセス性（車移動を考慮）	広域：水戸市街まで約12km、常陸太田市街まで約14分、 市内：上菅谷駅まで約7分、中菅谷駅まで約5分、那珂バイパスまで約10分
	競合が懸念される施設※	道の駅 ひたちおおた（約9km） 道の駅 常陸大宮 ～かわプラザ～（約19km） 直売所施設とんがりはっと（約3km）、JA常陸那珂直売所（約2km） 芳野農産物直売所 「ふれあいファーム芳野」（約4km） 直売所 サンファームなるみ（約2km）
	連携が期待できる施設	県植物園、静峰ふるさと公園、茨城県民の森、古徳沼、那珂西リバーサイドパーク 道の駅 ひたちおおた（約9km） 道の駅 常陸大宮 ～かわプラザ～（約19km） 直売所施設とんがりはっと（約3km）、JA常陸那珂直売所（約2km） 芳野農産物直売所 「ふれあいファーム芳野」（約4km） 直売所 サンファームなるみ（約2km）
資源	一次産品・特産品・加工品	那珂市 総農家数1,972戸：自給的農家数976戸（約49.5%） 全国 総農家数174.7万戸：自給的農家数71.9万戸（約41.2%） 市内の農業経営体の出荷先を茨城県全体と比較すると、農協への出荷割合が1割以上低く、小売業者への出荷割合が約2割高くなっている。 →産直施設と連携しやすい自給的農家が多い。
	自然・文化歴史等の観光資源	古徳沼：白鳥の飛来、静峰ふるさと公園：桜、紅葉 県民の森：植物園、鳥獣センター等、阿弥陀寺、一乗院：県指定文化財 那珂総合公園：グラウンド、野球場、歴史民俗資料館等

※競合が懸念される施設については、各施設の位置付けを明確化し、役割・機能の分化等を行うことで、相互が連携可能な施設となり得るため、各施設との丁寧な調整が重要となる。

6. 「道の駅」に期待できる効果

以上より、道の駅の整備で期待できる効果として、以下の項目が挙げられる。

表4 「道の駅」に期待できる効果

項目	期待できる効果
交流人口の拡大	市外・県外からの来訪者が集まることにより、市民との交流機会を創出する。
交通結節点	IC周辺立地を活かした市内外からの来訪者の交通拠点。
地域の魅力発信	IC周辺立地を活かし、遠方からの来訪者を獲得し、道の駅を拠点として市内への魅力へ触れる。
観光振興	市内および広域連携に向けた、観光の情報発信拠点としての機能が期待。
移住促進の支援	市外からの来訪者に那珂市の魅力をPRする場として期待ができる。
農業従事者の確保	道の駅を拠点とした体験農業や移住促進活動により農業従事者の確保を図る。
農産物のブランド化	小売り生産者が多く、直売所への農産物の提供の基盤がある。加工品の販売やP R 拠点として設定する。 農産物のブランド化による販売単価の向上。
地産地消と地産外商の促進	生産者と消費者を繋げるハブとしての役割を果たす。(マッチングフェア等)
サイクル・アウトドアとの連動	交通結節点として、サイクルポートの一つの拠点整備。
防災拠点	防災道の駅への選定も視野に入れ、地域の防災拠点となる施設整備。

7. 概念図

那珂 IC 周辺と市内及び広域との関係性を踏まえた「道の駅」の概念図を以下に示す。

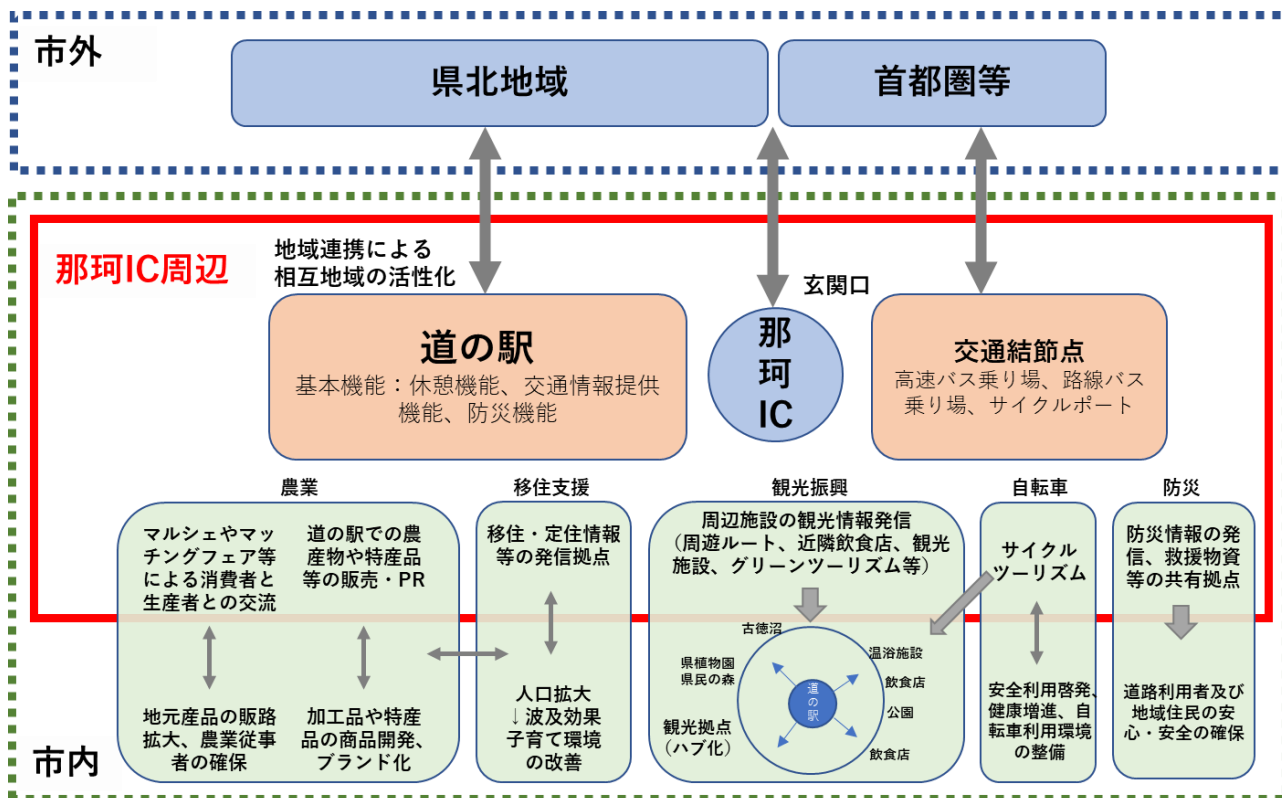


図2 市内及び広域から見た「道の駅」の概念図（案）

8. 基本理念とコンセプト
那珂市の上位・関連計画や市の現状、課題等を踏まえた「道の駅」の基本理念（案）・コンセプト（案）を以下に示す。



図3 「道の駅」の基本理念（案）・コンセプト（案）